

平成25年度事業概要

1. 大原美術館所蔵《アルピーユの道》の調査

2. 吉備国際大学研究所合同シンポジウムで大学院生による発表

1. 大原美術館から依頼された《アルピーユの道》の調査を平成25年9月9日吉備国際大学文化財総合研究センターで行った。センター長 大原秀行による実体顕微鏡観察、研究員 下山 進・大下浩司・高木秀明による赤外線照射画像観察、軟X線透過画像観察を行った。これらの観察から同作品の表面の状態を調査した。9月13日大原美術館にて研究員 下山 進・大下浩司によるラジオアイソトープを励起源とする蛍光X線分析がおこなわれ、使用されている顔料の調査を行った。

2. 吉備国際大学附置全研究所主催の合同シンポジウムが平成 25 年 10 月 13 日吉備国際大学岡山駅前キャンパスで開催された。

文化財保存修復学研究科 研究科長 下山 進が文化財総合研究センターで行われている修士大学院生への実践的な教育内容を紹介し、西洋美術修復室で修士研究を行っている修士 2 年大学院生 武田 尚子が、「油彩画修復の実践」と題して発表を行った。